

から算出した76万4千円を差し引いた1千150万6千円となっている。

〔質疑〕放課後児童クラブは今回の大平を含め5か所となるが、運営方法は異なるのか。

〔答弁〕これまでの4か所については市職員・臨時職員による直営であるが、大平地区については、実施主体が大平公民館運営会議となり、補助金により地域で運営を行う。

〔質疑〕大平放課後児童クラブの利用人数と利用申請、指導員の要件についてはどのようになるか。

〔答弁〕利用予定者は現在17名を見込んでおり、利用申請については大平公民館運営会議に申請となり、運営会議が採用した指導員と地域の方々に登録をしていただき、スタッフとして運営に協力をいただく。

〔質疑〕地域ボランティアによる運営には事故などのリスクが伴うと思われるが、どのように考えているか。

〔答弁〕既存の児童クラブにおいても、施設利用は一定のルールの中で行われており、

大きな事故も報告されていないことから、大平についても同様の対応が可能と思われる。

〔質疑〕平成23年度教育方針と第五次総合計画基本構想との整合性について伺いたい。

〔答弁〕平成23年度の教育方針については、現時点での計画に基づくものである。今回の第五次総合計画における第一章の将来像「白石の目指すべき姿」における「誇り」など、教育課程が大きく変わってくることから、議決に基づいた具体的なものを受け、平成24年度から教育方針も新たに見直しをしたいと考えている。

〔質疑〕中学校における有害サイトのフィルタリング対応について伺いたい。

〔答弁〕入学式や最初のPTA総会時に注意を喚起するための印刷物を配布し、説明をしているが、今後も積極的に対応していきたい。

〔質疑〕米飯調理の外部委託を検討した経緯について伺いたい。

〔答弁〕米飯システムについては平成5年より委託してい

るが、前年には故障などのため学校に米飯が供給できなくなり、パン食で対応した経緯もあり、平成21年8月から3千食の供給を前提とした検討をしてきた。

設備の更新には2億円前後の費用が見込まれ、財政的なこともあることから、宮城県学校給食会との協議も踏まえ、米飯供給については県南でも実績のある角田市の業者に委託することで、白石市教育委員会、学校給食運営審議会に諮問し、了承を得ている。

〔質疑〕新たな米飯調理外部委託に伴う予算の対応について伺いたい。

〔答弁〕米飯調理外部委託については、新年度予算要求までに間に合わなかったため、平成23年度学校給食センター費委託料における、米飯システム及び弁当箱洗浄機分解整備、ボイラー保守、LPガス気化装置保守の各委託料の減額見込み額約1千300万円について、需用費の賄材料費に予算の組み替え補正で対応したい。

〔質疑〕地域伝統文化活性化事業の内容と文化財資料収蔵庫の内容について伺いたい。

〔答弁〕平成22年度から国の委託事業として3事業を行っている。内容としては古文書のレスキュー事業、白石の関連資料の調査研究事業、歴史資料の普及啓発活用事業である。

文化財資料収蔵庫施設については、旧白石高校家庭科実習棟及び倉庫について、県と目的外使用の協議中であるが、両施設の活用について今後検討していきたい。



郡山字寿山にある資料整理室

## 特別会計

◎第26号議案 平成23年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕毎年5千万円ほどの配水管布設替工事を計画しているとの事だが、布設してから40年以上経過している水道管の布設替は今のペースで行っていった場合、相当の時間がかかるのではないか。また本管の漏水など修繕が必要になった場合、工事費は間に合うのか。

〔答弁〕通常の老朽管対策については、計画を立てながら整備を進めていく。今問題となっているのは漏水問題で、21年度は年間55件であったが、22年度は現在まで82件と、かなり件数が増えている。突発的な問題が発生した場合には予算が不足するよう場合は、内部留保資金を活用し、工事にあてるようになる。

〔質疑〕水道料金が高いという話を聞くので、水道予算に占める割合の大きい広域水道用水供給事業からの受水費7